

【技術の名称】 EG 定着板工法 －JIS 規格異形鉄筋を用いた機械式定着工法－ (改定2)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第01-13号 改2 性能証明発効日：2007年7月3日
	【取得者】 株式会社奥村組 合同製鐵株式会社 五洋建設株式会社 鉄建建設株式会社

【技術の概要】

本技術は、JIS G 3112 に規定する異形鉄筋の端部にねじ加工した鋼棒を摩擦圧接で接合し、このねじ部にねじ込み締め付けた円形定着板の支圧作用と異形鉄筋の付着作用によって、異形鉄筋をコンクリートに定着する技術である。摩擦圧接とは異形鉄筋の端面にねじ部を所定の圧力で圧着させながら高速回転させ、その摩擦熱により加熱しアプセットにより圧接する接合方法である。異形鉄筋端面とねじ部の摩擦圧接および円形定着板(これをEG定着板と称している)の加工・製造は合同製鐵(株)の責任で行われる。

本技術は、2001年11月6日に、(財)日本建築総合試験所 建築技術性能証明 第01-13号として性能証明がなされたものであり、2003年1月14日および2007年7月3日付けの改定では、適用範囲の追加あるいは定着条件の変更などがなされている。

【技術開発の趣旨】

従来の折曲げフックを用いた鉄筋の定着工法では、鉄筋の高強度化や太径化により曲げ加工が困難であったり、定着長さが長くなったりする問題が生じる。本技術は、そのような問題を解消し、配筋施工の合理化を図ることを意図して開発したものであり、JIS G 3112 に規定する異形鉄筋に適用できることが特色である。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「EG定着板工法」に用いるEG定着板は、鉄筋母材の規格引張強さの荷重を受けても損傷しない性能を有し、「EG定着板工法設計指針」によって設計されるEG定着板を用いた異形鉄筋の定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。



外周部柱梁接合部の納まり状況

【本技術の問合せ先】

株式会社奥村組 技術研究所

〒300-2612 茨城県つくば市大砂 387

合同製鐵株式会社 棒鋼販売部

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-9-1

五洋建設株式会社 技術研究所

〒112-8576 東京都文京区後楽 2-2-8

鉄建建設株式会社 研究開発部

〒286-0825 千葉県成田市新泉 9-1

担当者：岸本剛

TEL：029-865-1809

担当者：平山範洲

TEL：03-5218-7093

担当者：竹内博幸

TEL：03-3817-7591

担当者：石渡康弘

TEL：0476-36-2354

E-mail：takeshi.kishimoto@okumuragumi.jp

FAX：029-865-1522

E-mail：h.hirayama@godo-steel.co.jp

FAX：03-5218-7085

E-mail：Hiroyuki.A.Takeuchi@mail.penta-ocean.co.jp

FAX：03-3817-7695

E-mail：yasuhiro-ishiwata@tekken.co.jp

FAX：0476-36-2380